

第1712回 2020年12月17日（木）《週報》

秦野名水ロータリークラブ
秦野商工会議所 12 : 30

1. 点 鐘 2. 合 唱 「それでこそロータリー」 3. お客様の紹介

- ・ 秦野市教育研究所長 コンドウ 近藤 ジュンコ 順子様
- ・ 秦野市教育研究所 ミツヒラ 三平 トモオ 知央様

4. 会長の時間

○連日寒い日が続いています、普段なら「風邪などひかないように」「インフルエンザにかからないように」とか言いますが、このコロナに関しましては“勝負の3週間”が過ぎましたが、少しも下火にならずむしろ感染者の数が増えている状況です。3密を避ける・不要不急の外出は避けるという事を言われたりして、自分自身も十分気を付けていると思います。このコロナの話題というのは、北海道から沖縄までほとんどの方が関心を持っています。以前では、東日本大震災の時にも日本中の目が被災地に向けられましたが、このコロナでは日本全国の人に関心を持ってそれなりの対応しています。

○人から人への感染なので、人とのふれあい・人の集まりがずいぶんと制限され、この3週間の中でも「5人以上の集会はしないように」という話がありました。この例会も16名なので少し多いのですが、皆で考えて現状のスタイルで密を避けることにしました。

密を避けると言っても家庭では中々無理であり、大きな家であれば別ですが普通の家庭やマンション等では難しいです。ただ今まで核家族でバラバラの行動をしていた家族が、コロナ禍で団欒というものが増えてきた、家族の心の繋がりが再確認できたという意味では、一つ良いことではないかと思っています。

一年前に武漢から始まり、ちょうど丸一年経ち下火になるどころか増えている状況です。いつ収束するのか分かりませんが、もう一度家族同士の心のふれあいが取り戻せたなら幸いじゃないかと思っています。

『手伝ってくれる 息子がいることの 幸せ包む 餃子の時間』 俵万智さんの歌です。今まで息子が餃子を作るのを手伝ってくれるなんて考えもしなかったがそれができることが幸せに感じるという歌だと思います。

5. 幹事報告

【ガバナー事務所より】

- ①COVID-19（新型コロナウイルス）に関する地区及びクラブ運営ガイドライン
- ②2021-22 実施年度向け 第2回地区補助金説明会のご案内

【受付文書】

【例会変更】

《秦野》

- ・ 1月5日（火）臨時休会（コロナ感染拡大防止のため）
- ・ 1月19日（火）休会（3クラブ合同新年会中止）

【本日の配布物】

- ・ 第1712回例会次第
- ・ 第1711回例会週報

6. 記念日

- ・会社創業記念日
- ・入会記念日
- ・御結婚記念日
- ・御誕生記念日（会 員）[欠席分]山本さん（12/16）
（配偶者）



7. スマイル報告

- 神崎達朗さん「寒い日が続いています。お身体ご自愛下さい。」
- 大屋富茂さん「本日、秦野市教育研究所の近藤所長・三平様に来訪頂き“はだのっ子アワード”の事業に関する卓話を頂きます。その後秦野3RCを代表して当クラブより協賛金をお渡しさせていただきます。」
- 鈴木和夫さん「真冬の寒さになってきました。風邪とコロナに気を付けて後2週間頑張って過ごし、良い年を迎えましょう！」
- 古谷スミ子さん「1903年の本日ライト兄弟が有人の動力飛行に成功したとか、59秒260mだったそうです。“はだのっ子アワード”で育った子供たちが大きな夢に邁進するような大人になって欲しいものです」
- 山谷洋子さん「秦野市教育研究所 所長近藤順子様、指導主事 三平知央様 ようこそおいで下さいました。本日はどうぞよろしくお願い致します。」
- 桐山晃忠さん「スマイルします。」
- 北村まり子さん「近藤様、三平様 本日はよろしくお願いします。」
- 原郁夫さん「スマイルします。」
- 原恵美子さん「午後より長野に行きます。気温を朝調べましたら今日はマイナス11度、最高気温5度でした。友人に電話しましたら今雪かきをしているとの事でした。こちらは晴天で最高ですね。」
- 東島礼美さん「今朝は寒くてどうなるかと思いました。雪で欠席かと・・・」
- 諸星道治さん「秦野市教育研究所長 近藤様・三平様 はだのっ子アワードについて卓話宜しくお願い致します。」
- 山本裕宣さん「誕生日の祝いありがとうございます。」
- 矢端雅子さん「寒さが本格的になり耳がひんやり・・・。皆様、風邪ひかれぬようご自愛下さいませ。」
- 酒井健一さん「もうすぐ半分を過ぎようとしています。皆様のご協力でスマイルも順調です。ありがとうございます。」

合計 46,000 円

8. 出席報告

- 会員数 16名、○出席義務 16名、○出席数 14名、出席率 87.5%

9. 地区委員会報告 ⇒ 無し

10. 委員会及びその他の報告

- 親睦活動委員会 諸星道委員長

幹事から話しがありましたが、来週24日(木)の家族親睦クリスマス会は中止とし通常例会となりました。但し開催時間は15:00～16:00とし、お帰りの際はオードブルのお土産を持ち帰って頂きます。

- 社会奉仕委員会 原恵委員長

2月21日に予定しております財団補助金事業“心泉学園”のテーブルマナー教室の開催について、先日理事長とご相談しました。今年の高校3年生はここで卒業したら社会に出て行かなければなりません、コロナ禍で遠足も運動会も行事が何もできなかったということで、可能であれば是非開催して頂きたいとのご意向でした。最終的に決める際には皆様方と相談して決めたいと思います。よって年明けに皆様と相談して決定したいと思いますのでよろしくお願い致します。

11. はだのっ子アワードについて

○秦野市教育研究所長 近藤様

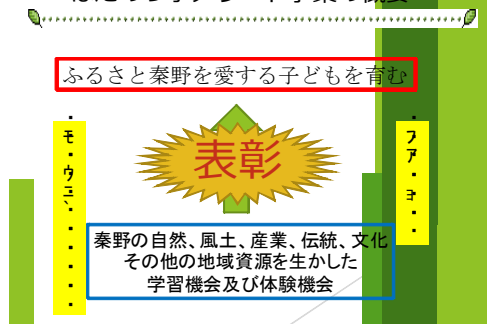
本日は貴重な機会を頂き、本当にありがとうございます。
 私どもでやらせて頂いております
 はだのっ子アワード事業について発表させて頂
 けるということで、今回この事業についての概
 要を担当している三平の方からご説明させて頂
 きたいと思いますので宜しくお願い致します。



○秦野市教育研究所 三平様

はだのっ子アワード事業の概要をお時間を少し頂きましてお話ししたいと思いますのでよろしくお願い致します。

1. はだのっ子アワード事業の概要



表彰することで秦野を愛する子どもを育てていきたいと考えております。

2. ①ふるさと秦野検定



“はだのっ子アワード事業”は、平成19年度から始まった事業です。すでに10年以上の歴史を持っているものになります。この“はだのっ子アワード事業”の目的は、「ふるさと秦野を愛する子どもを育む」ことにあります。

どのように育むかという、秦野の自然・風土・産業・伝統・文化などリソースを活かした学習機会及び体験機会、これを

簡単に申しますと、秦野のことを子どもたちが学ぶ、この学んだ努力を認めて表彰する、それによってはだの大好き子を育てていこうというような事業になっております。

どのように学ぶのかと申しますと、「ふるさと秦野検定」と「体験活動」に取り組んでいます。

3. まず、「ふるさと秦野検定」について説明します。これは秦野の様々なことについて問題を作りそれを子どもたちがテスト形式で解いていくものになります。S・A・B・C級と4つの難易度別に分かれており、各80%以上の正答で合格となっております。そしてそれぞれの級で合格すると「認定証」を子どもたちに贈呈しています。

Q1 秦野市の「市の花」に制定されている花は何？



①スマイル ②レンゲ ③ナデシコ ④ユリ

Q3 1890年に完成した水道は何水道？



①曾屋水道 ②秦野水道
③本町水道 ④丹沢水道

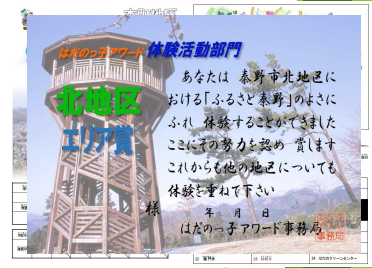
〔例題1〕

例年ですと休日に2校ほど会場校を用意しまして、ペーパーテストの形で行っていますが、今年度はコロナ禍ですのでオンライン化しましてWEBで行い、また機会を増やそうという事で夏だけの実施を冬も実施することにより多くの子どもたちに触れて欲しいという思いで実施しています。

〔例題2〕

4. 続いて「体験活動」部門についてですが、秦野市内の名所又は歴史的価値のある場所、公共施設などをリストアップしたものを冊子にしましてそれぞれの場所に子どもたちが足を運ぶという事になっています。例えば、曾屋神社・まほろば大橋・秦野クリーンセンター等書いてあります。

②体験活動部門（7地区）



これらの場所に行き写真を撮って冊子に貼り、行って来たと確認出来たら認定証を送ります。7地区ありますので、1つの場所に行ったら1つの認定証ということにしています。

この「体験活動」部門は秦野市内全部なので、子どもたちだけでは行けないような場所も結構あるので、その時は家の方と協力して色々な場所に行って貰っています。家の方から「子どもと話す機会が少なくなっている中でこういうことで子どもと一緒に取り組めたというのは本当に家族として良い思い出ができた。」という声もあり評判の良い活動となっています。

5.



今回ロータリークラブ様の協賛を頂き作成するのが、秦野産材の木材で盾を作ります。

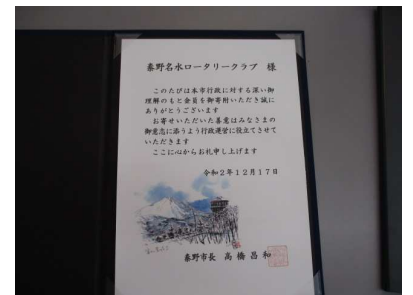


これを贈呈してもらえるのは、7地区すべてを回わり、更に最初に説明したS級の検定の合格者となります。とにかくものすごく頑張った子たちということで、秦野市産材の木材で作られている木枠の盾を贈呈しようと思っております。

6. 今回この表彰を秦野市産材のものでできるというのは、「ふるさと秦野を愛する子どもを育む」という目標に立ち返りましても大変意味深いものと考えております。その中でロータリークラブ様からご支援頂くということは本当に有難いことと思っております。今後も是非「はだのっ子アワード」を育むためにも永くご支援・ご協力をお願い致します。

12. はだのっ子アワード協賛贈呈式

- ・ 秦野市教育研究所長 コンドウ 近藤 ジュンコ 順子様
- ・ 秦野市教育研究所 ミツヒラ 三平 トモオ 知央様



13. 点 鐘